

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第177号	
事故等種類	転覆	
発生日時	平成21年5月24日 20時55分ごろ	
発生場所	愛知県中部国際空港北進入灯施設先端灯から真方位168° 240m付近 (概位 北緯34° 52.3′ 東経136° 48.0′)	
事故等調査の経過	平成21年7月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 第二吉栄丸 0.95トン	
船舶番号、船舶所有者等	AC3-35035（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	船外機濡れ損	
事故等の経過	<p>本船は、船長1人が救命胴衣を着用して乗り組み、中部国際空港北側の漁場において揚網作業中、船首部に引き揚げた網を左舷に寄せて積み上げ、船体が左舷に傾いた状態になっていたところ、平成21年5月24日20時55分ごろ、左舷側から横波を受けて転覆した。</p> <p>船長は、転覆直前、携帯電話で救助を要請し、21時35分ごろ、船底に挟まっていたところを付近航行中の船に救助された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風速 約10m/s 気温 約19℃ 視程 良好</p> <p>海象：波高 約1m</p>	
その他の事項	<p>本船は、和船型の船外機付きの船であった。</p> <p>船長は、出航に当たって仲間から、風が吹いてこれから波が高くなると言われたが、仕掛けた網を揚げるため出港した。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、中部国際空港北側の漁場において、引き揚げた網を左舷に寄せて積み上げ、横傾斜が生じた状態であった際、横波を受けて転覆した可能性があると考えられる。</p> <p>船長は、波が高まることを承知して出港した可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が中部国際空港北側の漁場で揚網作業中、引き揚げた網を左舷に寄せて積み上げ、横傾斜が生じた状態であった際、横波を受けたため、転覆したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>	